

KWASSUI
活水学院

活水ウェルビーイング センター 開設について

～地域と共に創る、健康と学びの新拠点～

2026年4月開設

2026年3月2日 記者発表資料



1

KWASSUI

センターの使命 Mission

健康で持続可能な社会を創造する知の拠点

地域と協働し、教育の専門性を結集し、
誰もが住み慣れた場所で安心して暮らせる
持続可能な地域社会の共創を目指します。

2

2

設置の目的



社会的背景

- ▶ **在宅ケアニーズの急増**
医療技術の進歩に伴い、日常的な医療ケアを必要とする子どもから高齢者が増加しており、本人とその家族への包括的な支援が社会的に強く求められています。
- ▶ **地域の複合的課題の深刻化**
少子高齢化、地域コミュニティの希薄化、自治体財政の逼迫など、複雑化する地域課題に対し、単独の組織ではなく多職種連携による解決が必要です。
- ▶ **産官学連携によるウェルビーイング向上**
地域のウェルビーイング(幸福・健康)を実現するため、大学・行政・企業が一体となった持続可能な支援モデルの構築が不可欠です。

活水学院の使命と教育目的

活水学院の使命

- ✓ その時代の社会が必要としている教育を実践
- ✓ 地域社会の公器として、教育・研究・社会貢献を統合

教育機関としての目的

- ✓ 地域Well-beingの実現
- ✓ 地域レジリエンス(回復力・適応力)の強化
- ✓ 次世代を担う実践的人材の育成

活水ウェルビーイングセンター設立の意義

「健康」をキーワードに多角的な支援を目指す
新たな取り組みを開始。健康で持続可能な
地域社会の創造を目指します。

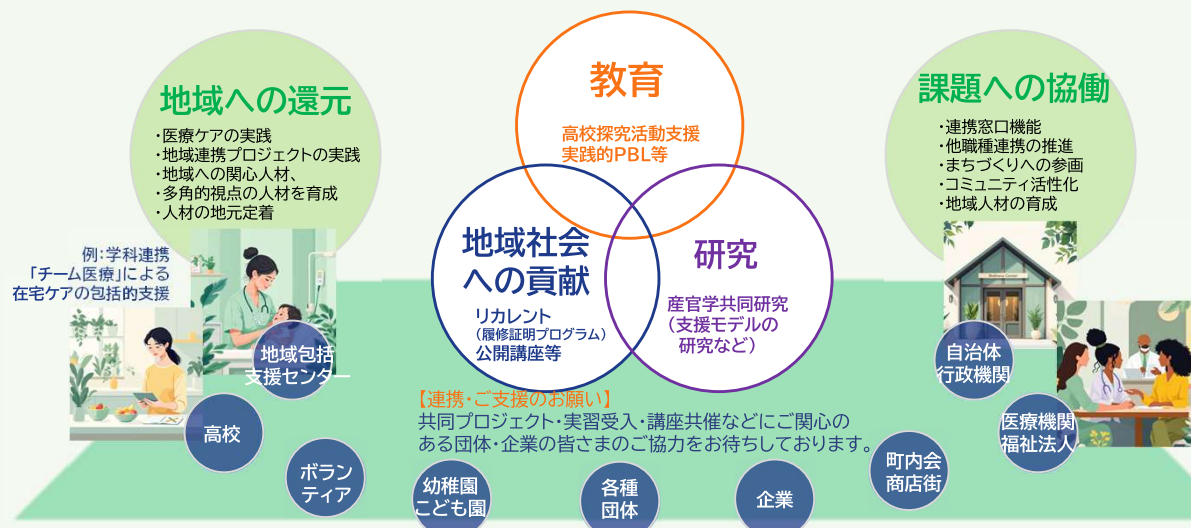
3

3

活水ウェルビーイングセンターの概念



地域課題への協働と人材育成を目指し、地域一帯でWell-Being向上へ。



4

4

活水ウェルビーイングセンターの特徴・機能



地域貢献の機能

地域課題の解決とウェルビーイング向上

- ✓ **在宅ケアへの包括的支援拠点**
医療的ケアが必要な子どもから高齢者とその家族に対し、相談・ケア・交流の場を提供し、孤立を防ぎます。
- ✓ **産官学連携・地域連携の総合窓口**
自治体・企業・地域団体との連携を統括し、多職種協働による地域課題解決プロジェクトを推進します。
- ✓ **生涯学習・公開講座による健康教育**
地域の健康リテラシー向上を目指し、専門知識を還元する公開講座やワークショップを開催します。
- ✓ **まちづくり・地域包括ケアへの参画**
地域包括ケアシステムの一翼を担い、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に寄与します。

教育の機能

実践的学びと人材育成のフィールド

- ✓ **4学科連携による実践的PBL**
看護・子ども・食生活健康・生活デザインの4学科が連携し、課題解決型学習(PBL)を通じて多角的視点を養います。
- ✓ **高大連携・キャリア教育の推進**
高校生と共に学ぶ機会を創出し、早期からのキャリア教育と地域への関心を高めるプログラムを展開します。
- ✓ **フィールドワーク・地域実習の場**
キャンパス外へ飛び出し、地域の人々と直接触れ合うフィールドワークを通じて、実践力を磨きます。
- ✓ **学生の主体的学びと課題解決力の育成**
学生自らが課題を発見し、解決策を企画・実行するプロセスを通じて、社会で活躍できる力を育成します。

5

5

活水女子大学 4学科の役割と専門性



学科の垣根を越えた「チーム医療」の実践モデル

看護学科



- **看護ケアの提供**
高度な専門知識に基づき、安全で質の高い直接的な医療ケアを提供します。
- **家族支援・教育**
ご家族への技術指導や相談対応を行い、在宅ケアの不安を軽減いたします。
- **医療連携の促進**
地域の医療機関と密接に連携し、継続的なケア体制を構築します。

子ども学科



- **発達支援プログラム**
一人ひとりの発達段階に応じた遊びや学びのプログラムを実践します。
- **心理的サポート**
心理的な安定と社会性の育成を目指し、心に寄り添うケアを行います。
- **環境調整支援**
保育・教育現場と連携し、インクルーシブな環境づくりを支援します。

食生活健康学科



- **個別栄養指導**
病態や成長に合わせたきめ細やかな栄養管理プランを作成します。
- **食生活支援**
「食べる喜び」を大切に、嚥下機能に応じた食事形態を提案します。
- **アレルギー配慮**
食物アレルギーに対応した安全で美味しい献立作成技術を提供します。

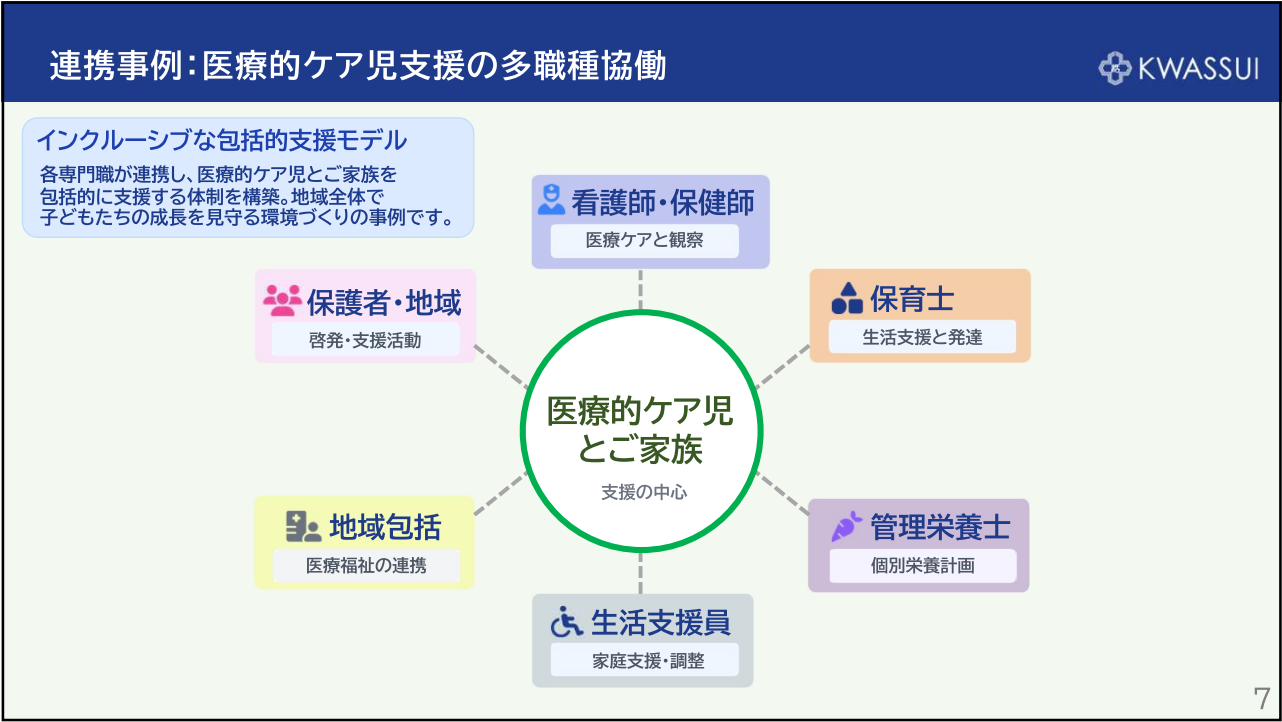
生活デザイン学科



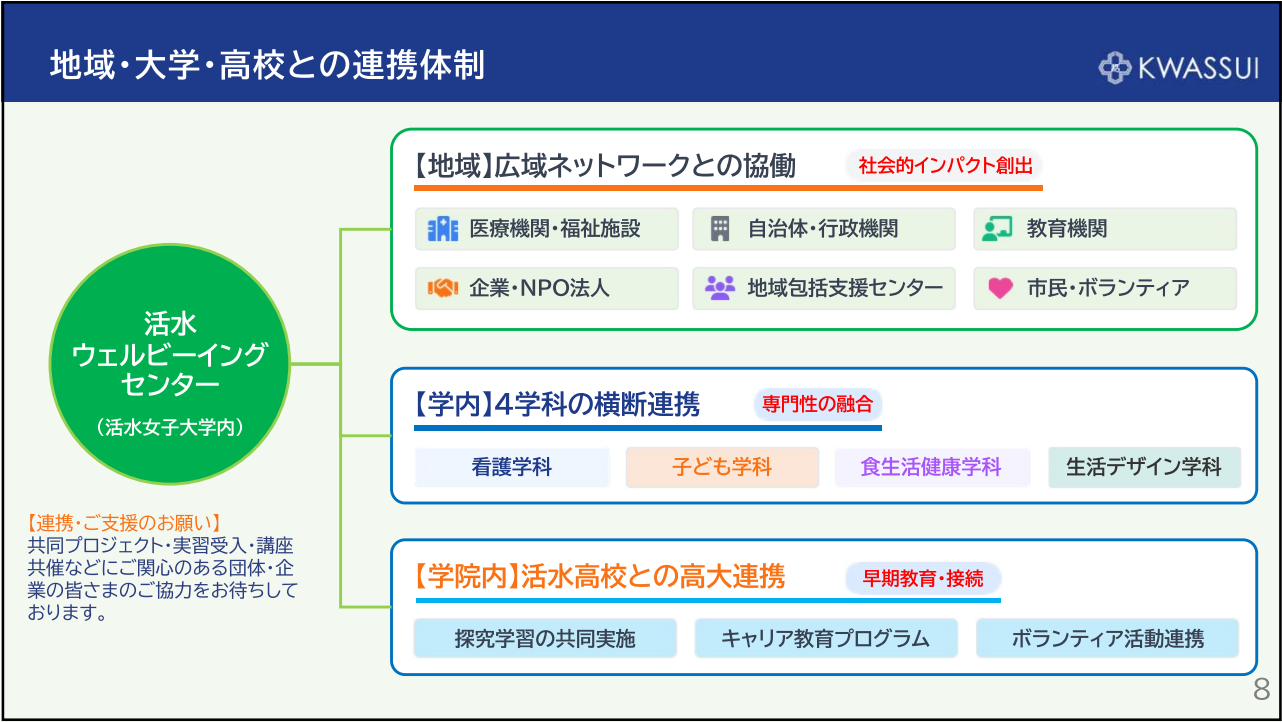
- **バリアフリー設計**
医療機器の設置や車椅子利用に配慮した、機能的で快適な住環境を提案します。
- **福祉用具活用**
最新の福祉用具や支援機器の効果的な活用法を指導し、自立を促進します。
- **生活の質向上支援**
生活空間全体のコンサルティングを通じ、QOL(生活の質)向上に貢献します。

6

6



7



8

期待される効果



活水ウェルビーイングセンターが実現を目指す4つの価値

地域のウェルビーイング向上

在宅ケアが必要なかたとその家族への包括的支援を通じ、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に寄与します。

活水
ウェルビーイング
センター

(活水女子大学内)

実践を通じた学生の成長

課題解決力・協働力・専門性の向上を図り、地域社会に貢献できる実践的な人材を育成します。

産官学連携の深化と地域活性化

多様な主体との協働による新たな価値創出を行い、地域経済・社会の活性化を推進します。

活水ブランド価値の向上

地域社会の公器としての存在意義を明確化し、教育・研究・社会貢献の統合モデルを確立します。

9

9

主要業務



地域貢献の取り組み

- 01 学外・地域連携及び地域貢献事業
- 02 連携・貢献活動の総合窓口機能
- 03 産官学連携(地域大学・自治体・企業)の推進
- 04 自治体・地域活動への支援
- 05 まちづくりへの寄与(市民・地域・行政との協働)

教育機能の取り組み

- 06 高大連携(教育研究の接続・キャリア教育)
- 07 公開講座・市民大学など生涯学習の推進
- 08 フィールドワーク等、学生の学修・課外活動の推進
- 09 教育・研究成果の発信と普及
- 10 目的達成に必要なその他の事項

10

10

運営について



活水ウェルビーイングセンター 運営体制

センター長	岩瀬 貴子(副学長 看護学部 教授)	設置場所	活水女子大学 東山手キャンパス内
副センター長	堀 由美子(健康生活学部 教授)	利用対象	学生、地域住民、企業、自治体 等
スタッフ構成	(準備中)	窓口受付	月～金(週末要相談)10時～16時
事務担当	総合企画室		